

# 健康すいた21(第3次)中間見直し(中間評価)の 主な論点

令和6年8月7日  
吹田市健康まちづくり室

# 分野5 歯と口腔の健康



中間見直し(中間評価)時点で、目標値を達成している指標

成果指標	基準値 令和2年度 (2020年度)	現状値 令和5年度 (2023年度)	目標値 令和8年度 (2026年度)	評価	目標値の考え方
② 12歳(中学1年生)における永久歯のむし歯経験歯数	0.58本	0.37本	0.39本以下	a	平成28年度(2016年度)から令和2年度(2020年度)の増加率を基準値に乗じて設定しました。

評価指標	基準値 令和2年度 (2020年度)	現状値 令和5年度 (2023年度)	目標値 令和8年度 (2026年度)	評価	出典
⑥ 歯間部補助清掃用器具の使用者の割合	35～44歳: 71.5% 45～54歳: 72.9%	35～44歳: 83.3% 45～54歳: 81.8%	35～44歳: 72.5%以上 45～54歳: 73.9%以上	a	平成28年度(2016年度)から令和2年度(2020年度)の増加率を基準値に乗じて設定しました。
⑩ オーラルフレイルについて知っている人の割合	—	20.6% (令和4年度)	13.1%以上	a	国・府で目標値を設定していないため、フレイルの認知度の目標と合わせた目標としました。



事務局案

フレイルの認知度については、現状値が把握できないため、評価困難

②は現状値のみ目標値を達成、⑥は目標値を達成しているが、一定の使用者割合を維持する、⑩は現状値のみ把握しており、実績値の推移が把握できていないことから、目標値の修正は行わないものとする。